

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ヒーハイト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <https://www.hephaist.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,776	△13.5	△0	—	9	△95.7	1	△99.3
2022年3月期第3四半期	2,054	37.7	218	—	226	—	156	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 17百万円(△89.0%) 2022年3月期第3四半期 163百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.18	—
2022年3月期第3四半期	25.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,427	3,240	59.7
2022年3月期	4,896	3,238	66.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,240百万円 2022年3月期 3,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,467	△10.0	6	△97.4	12	△95.2	2	△98.8	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	6,316,700株	2022年3月期	6,316,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	53,984株	2022年3月期	53,984株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,262,716株	2022年3月期3Q	6,162,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和により経済社会活動が徐々に正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格及び光熱費・物流費の高騰、円安基調による物価上昇傾向の為替動向など、引き続き不安定な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れ、継続的に現場改善等に取り組んで参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,776,084千円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

利益面につきましては、生産設備投資・効率的な生産でスマート生産体制を進めて参りましたが、売上高の減少及び、原材料価格及び光熱費・物流費等の上昇により製造原価が増加した事で、営業損失570千円（前年同四半期は、営業利益218,547千円）、経常利益9,748千円（前年同四半期95.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,118千円（前年同四半期99.3%減）となりました。

直動機器につきましては、中国ロックダウンによる販売の減少や、国内での原材料の調達遅延による生産高の減少が影響したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,108,784千円と前年同四半期と比べ203,662千円の減少（前年同四半期比15.5%減）となりました。しかしながら、将来的には直動機器の需要が伸長することが予想されることに伴い、これに対応した直動機器の生産増強のために、埼玉工場敷地内に「無人工場棟」を新設に着手するなど生産設備投資を継続しております。

精密部品加工につきましては、レース用部品の供給は継続しているものの、前期より減少しており、売上高は515,273千円と前年同四半期と比べ67,359千円の減少（前年同四半期比11.6%減）となりました。

ユニット製品につきましては、中国市場の受注の停滞や、販売先の設備投資の延期もあり、売上高は152,026千円と前年同四半期と比べ6,896千円の減少（前年同四半期比4.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,427,230千円となり、前連結会計年度末と比べ530,247千円の増加となりました。主な要因は、売上債権117,955千円の減少に対し、棚卸資産193,231千円、機械装置及び運搬具161,117千円、現金及び預金146,094千円に加え、「無人工場棟」の建設による建設仮勘定77,200千円の増加によるものであります。

負債は、2,186,902千円となり、前連結会計年度末と比べ528,335千円の増加となりました。主な要因は、社債23,000千円、未払法人税等74,882千円の減少に対し、借入金485,476千円、仕入債務98,047千円に加え、生産設備投資による営業外電子記録債務83,644千円の増加によるものであります。

純資産は、3,240,327千円となり、前連結会計年度末と比べ1,912千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金23,932千円の減少に対し、為替換算調整勘定16,921千円の増加によるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,455	1,119,550
受取手形及び売掛金	351,036	296,378
電子記録債権	557,585	494,288
商品及び製品	172,915	224,163
仕掛品	344,074	440,769
原材料及び貯蔵品	259,115	304,402
未収還付法人税等	—	23,956
その他	34,629	55,683
流動資産合計	2,692,812	2,959,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	509,929	493,912
機械装置及び運搬具（純額）	365,131	526,249
工具、器具及び備品（純額）	36,255	60,445
土地	908,966	908,966
リース資産（純額）	45,662	46,301
建設仮勘定	1,229	78,429
有形固定資産合計	1,867,174	2,114,305
無形固定資産		
投資その他の資産		
保険積立金	202,545	224,617
繰延税金資産	112,683	113,605
その他	8,546	5,884
投資その他の資産合計	323,775	344,107
固定資産合計	2,204,169	2,468,037
資産合計	4,896,982	5,427,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	223,820	271,084
電子記録債務	315,274	366,058
短期借入金	10,000	60,000
1年内償還予定の社債	23,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	87,292	196,097
リース債務	17,680	13,181
未払法人税等	75,921	1,039
賞与引当金	29,718	7,586
営業外電子記録債務	64,223	147,867
その他	169,384	129,699
流動負債合計	1,016,315	1,215,613
固定負債		
社債	61,000	38,000
長期借入金	301,787	628,458
リース債務	28,608	33,799
役員退職慰労引当金	151,406	161,164
退職給付に係る負債	92,250	100,866
その他	7,200	9,000
固定負債合計	642,251	971,289
負債合計	1,658,567	2,186,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	688,479
利益剰余金	1,824,343	1,800,411
自己株式	△15,416	△15,416
株主資本合計	3,220,991	3,206,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	△24
為替換算調整勘定	17,403	34,325
その他の包括利益累計額合計	17,422	34,300
純資産合計	3,238,414	3,240,327
負債純資産合計	4,896,982	5,427,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,054,002	1,776,084
売上原価	1,505,267	1,409,420
売上総利益	548,734	366,663
販売費及び一般管理費	330,187	367,234
営業利益又は営業損失(△)	218,547	△570
営業外収益		
受取利息	367	284
有価証券利息	2,344	—
受取手数料	1,037	956
補助金収入	200	156
保険解約返戻金	1,019	1,417
廃材売却収入	864	1,733
為替差益	10,358	8,090
その他	325	375
営業外収益合計	16,518	13,014
営業外費用		
支払利息	3,506	2,445
有価証券評価損	4,263	—
その他	324	249
営業外費用合計	8,094	2,695
経常利益	226,971	9,748
特別利益		
固定資産売却益	97	119
特別利益合計	97	119
特別損失		
固定資産売却損	934	—
固定資産除却損	136	159
特別損失合計	1,071	159
税金等調整前四半期純利益	225,998	9,708
法人税等	69,231	8,590
四半期純利益	156,767	1,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,767	1,118

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	156,767	1,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△44
為替換算調整勘定	6,263	16,921
その他の包括利益合計	6,296	16,877
四半期包括利益	163,063	17,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,063	17,995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。